

ログハウスマガジン

こんな生き方が憧れます!

# 夢の丸太小屋 に暮らす

LOGHOUSE  
MAGAZINE  
SINCE 1985

July 2011  
No.119  
bi-monthly

第7号

特別定価 ¥1500

白州の森と川で遊ぶ、作家・樋口明雄さんを訪ねる「こんな暮らしが良かった!」・ニッポンのログハウス・東日本大震災ログハウス現地レポート・C.W.ニコルさんインタビュー・日本ログハウス・オブ・ザ・イヤー「受賞作」ログライフの基礎技術・ログビルダー&ログメーカースタッフの自伝・ビザ案づくりに挑戦!

特別企画

東日本大震災レポート  
現地ログハウスは  
どうなったのか?

特別企画  
白州の森と川で遊ぶ  
作家・樋口明雄さん  
を訪ねる

特集  
今年こそ薪ストーブ導入だ!  
各社おすすめ  
薪ストーブカタログ

特集  
ここまで進化した  
ニッポンのログハウス

C.W.ニコルさん  
インタビュー  
「日本の森を守る」

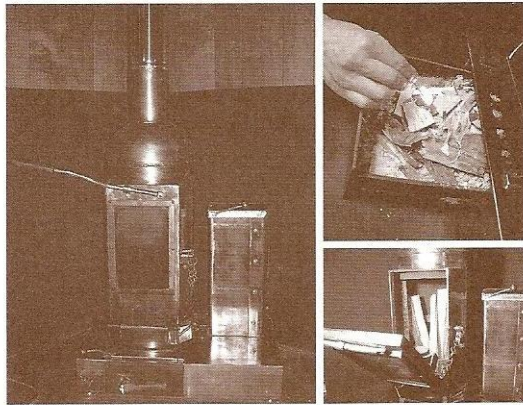
日本ログハウス・オブ・ザ・イヤー「受賞作」  
シエルハ高藤の田舎暮らし春夏秋冬  
ログビルダー&ログメーカースタッフの自伝  
ビザ案づくりに挑戦!

大特集  
こんな暮らしが  
憧れます!  
こんな暮らしが  
憧れます!  
こんな暮らしが  
憧れます!



耳寄り  
情報

## 間伐材のカラマツを有効利用できる! 水を補助燃料にするストーブを開発



左/薪ストーブは大(70万円)、中(60万円)、小(50万円)の3種類を用意  
右上・下/ストーブの最下段に付いている引き出し(下部燃焼室)で火をおこすと、上段に入れた薪に火が燃え移る仕組みになっている

©Lab72  
〒394-0011 長野県岡谷市長地6147-5  
☎0266-24-0879  
E-mail:lab72@po28.lcv.ne.jp

精密機械の開発などに技術提供をしている民間研究所Lab72と、鉄工芸品を製作している曾根鉄工房が協力し、水を補助燃料に使う薪ストーブ「きらめき」を開発した。炭と水を化学反応させ水素ガスをつくり、そのガスを補助燃料に利用することで、カラマツの「すぐに燃え尽きる」「燃焼温度が高すぎる」「煤やタールが出る」という欠点を補うことに成功。Lab72代表で開発者の村木治一さんは「たくさんの人に、安い間伐材を使って、心地よいストーブライフを過ごしてもらいたい」と語る。薪ストーブのデモンストレーションを長野県岡谷市にある曾根鉄工房で行っており、随時見学が可能。詳しい情報はHP (<http://www.lcv.ne.jp/~lab72/>)、または左記まで問い合わせを。